

シリーズ累計で3億枚以上販売のデータカードダスに最新作登場

ウルトラ モンスターズ
大怪獣バトル ULTRA MONSTERS 導入スタート!
 ウルトラ怪獣シリーズの玩具とも連動開始

株式会社バンダイ
 本社：台東区駒形1-4-8
 社長：上野和典 資本金：246億円

(株)バンダイは、デジタルデータとカードゲームを融合させたカードエンターテインメントマシン、データカードダス(別紙参照)の新タイトル、『データカードダス **大怪獣バトル** ウルトラ モンスターズ ULTRA MONSTERS』を、2007年5月より順次導入します。設置場所は、全国の玩具店、百貨店・量販店の玩具売場、およびアミューズメント施設です。

『データカードダス **大怪獣バトル** ウルトラ モンスターズ ULTRA MONSTERS』とは、従来シリーズ同様にカートからデータを読み込んで遊ぶことができるデータカードゲームです(1回1枚100円/税込)。初代ウルトラマンから最新のウルトラマンメビウスまで歴代作品で活躍したウルトラ怪獣たちが登場し、筐体画面で戦いを繰り広げます。

今回は、玩具売り場などで販売中のウルトラ怪獣シリーズのソフトビニール人形に新たに付属する怪獣のカードとも、連動して遊ぶことが大きな特徴です。

ターゲットは就学前～小学生の男子及びウルトラ怪獣に親しんできた大人の男性で、親子2世代に支持されるウルトラ怪獣シリーズのデータカードダスを展開することで、更なるターゲットの拡大を狙います。



写真：データカードダス **大怪獣バトル** ウルトラ モンスターズ ULTRA MONSTERS

左上：プレイ画面 左下：カード 右：データカードダス筐体

データカードダス 大怪獣バトル ULTRA MONSTERS」とは？ 遊びの内容について



<プレイ画面>

データカードダス最新作データカードダス 大怪獣バトル ULTRA MONSTERS」(1回 1枚 100円/税込)は、「ひとりであそぶ」「ふたりであそぶ」「カードをかう」の3モードから1つを選ぶことができます。

- 「ひとりであそぶ」モードと「ふたりであそぶ」モードは、プレイヤーがカードを使って歴代の人気ウルトラ怪獣を召還し、ボタンを連打することにより迫力のあるバトルを繰り広げるゲームです。
- カードは1プレイごとに必ず1枚手に入れることができます。
- 「ひとりであそぶ」モードでは、バトルで遊ぶ「バトルモード」に加え、(株)円谷プロダクション製作のオリジナルストーリーを、テレビ番組のように楽しむことができる「ストーリーモード」を搭載しています。

玩具との連動について

データカードダス 大怪獣バトル ULTRA MONSTERS」対応カードは、玩具売り場などで販売されるウルトラ怪獣シリーズのソフトビニール人形にも、今夏よりプロモーションとして付属します。

この付属カードはデータカードダスで遊ぶことで入手できたり購入できるカードとは、別の遊び方ができる種類のカードです。

ウルトラ怪獣シリーズのソフトビニール人形はバンダイでは1983年より発売をスタートし、年間約100万個以上を販売するバンダイの定番の人気商品で、ウルトラヒーローシリーズの人形もあわせると累計で6,432万個(1983年～2006年3月)を販売しています。

尚、今夏にはデータカードダス 大怪獣バトル ULTRA MONSTERS」と連動可能な携帯液晶玩具(価格未定)も発売予定です。



<ソフトビニール人形と付属カード>

<商品概要>



イメージイラスト：開田裕治

(C)円谷プロ © BANDAI 2007

データカードダス「大怪獣バトル ULTRA MONSTERS」

- メーカー希望小売価格 : 1回 1枚 100円 (税込)
- 販売ルート : 全国のデータカードダス用自動販売機
- 発売日 : 2007年 5月(予定)
- 筐体サイズ : 166cm(H) × 48cm(W) × 66cm(D)
- カードサイズ : 86mm(H) × 59mm(W)
- ゲームプレイ時間 : 約 3分
- ゲーム形式 : 1Pモード 勝ち抜き戦
2Pモード 2人対戦
(プレイをせずにカードの購入のみも可能)

この資料は 2007 年 2 月 13 日時点のものです。

画面は八メコミ画像です。

この資料に掲載されている筐体、商品、画面は開発中のものです。

バンダイのカード事業

バンダイのカード事業は自販機専用カード「カードダス」(1988年より発売)に端を発します。発売以来「カードダス」は、SDガンダム、ドラゴンボール、セーラームーン、ポケットモンスター、デジタルモンスター、金色のガッシュベル!!などのキャラクターを商品化し、数々のヒットを生みました。2007年1月末までに累計販売数約86億枚、カードダスマシン設置台数約10万台を記録し、子供たちの間で「カードと言えばカードダス」と言われる程、コレクションホビーとしての地位を確立しています。バンダイでは、今後もキャラクターマーチャンダイジング力を生かした商品展開を行い、購買層の拡大を図っていきます。(2007年2月現在)

「データカードダス」とは?

データカードダスは、デジタルデータとカードゲームを融合させた新型カードエンターテイメントとして2005年3月より、バンダイとグループ会社であるバンプレストの共同事業として、展開を開始しました。現在カードダス筐体は量販店やアミューズメント施設を中心に全国で約14,500台設置されています。第1弾の「ドラゴンボールZ」以降「NARUTO - ナルト - 」、「たまごっち」、「デジタルモンスター」と現在全4シリーズを展開中で、小学生を中心に好評を博しており、全シリーズの累計販売枚数は約3億枚にのぼります。

「データカードダス」マシンは、デジタルデータ付カードの購入ができる自販機であるとともに、購入したカードのデータを読み込んでデジタルデータと融合した遊びを提供することができるカードマシンです。データカードダス専用のカードにはバーコードが付いており、このバーコードのデータを筐体が読み取り、その情報をもとに、筐体に搭載されたゲームソフトで遊ぶことができます。「たまごっち」「デジタルモンスター」シリーズではカードだけでなく、携帯液晶玩具に内蔵されるデータとも対応が可能になり、遊びの幅も広がりました。

(2007年2月現在)

バンダイカードダス主要年表

- 1988年 自動販売機専用商品「カードダス20」(1枚20円)の販売をスタート。
- 1989年 カードダス「ドラゴンボールシリーズ」発売。大ヒット。
- 1990年 「カードダス100」(5枚1セット/100円)発売スタート。
- 1994年 「ジャンボカードダス」(1セット100円)発売スタート。
- 1996年 トレーディングカード「カードダスマスターズ」シリーズ発売スタート。
- 1999年 カードダスマスターズ「GUNDAM WAR」シリーズ発売スタート。現在でも大好評の商品シリーズです。
- 2003年 カードダス「金色のガッシュベル!! THE CARD BATTLE」が大ヒット。
- 2005年 データカードダス「ドラゴンボールZ」、続いて「NARUTO-ナルトナルティメットカードバトル」稼働開始。
- 2006年 データカードダス初の女兒向けコンテンツ「超ねんじゅーかいさい カードでおえん! たまごっちカップ」、続いて「究極対戦!! デジモンバトルターミナル」稼働開始。

データカードダス「大怪獣バトル ^{ウルトラ モンスターズ} ULTRA MONSTERS」ホームページ <http://www.daikaijyu.com/>
カードダスドットコム ホームページ <http://www.carddas.com/>
バンダイ ホームページ <http://www.bandai.co.jp/>